

成年  
コミック

メイド  
としての  
日々

誇り

Between pride and  
humiliation.

と  
屈辱

の狭間で

1

ヤスヒロ  
YASUHIRO





なかなか  
上手じゃないか  
未経験とは  
思えん舌使いだ

うるさいっ…  
喋る余裕が  
あるなら早く出せ…



興奮で  
もう出そうだ

こぼすなよ



いかんな…  
この時を  
待ちわびすぎて

すごいにおい！  
吐き出したい！  
吐き出したいの！

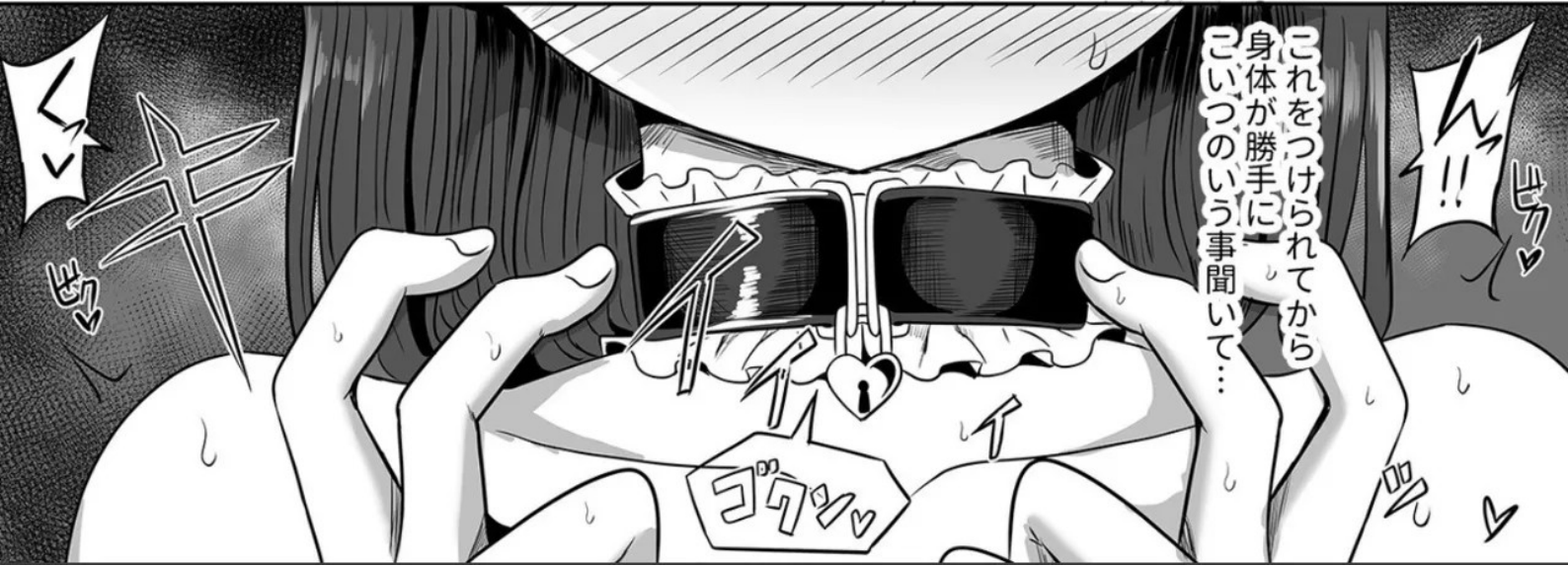
おっ！

どろっ...

ほらケイト  
全部飲むんだ



これをつけられてから  
身体が勝手に...  
こいつのいう事聞いて...





ごちそうさまでした…  
ご主人様ツ…

くく言いつけ通りに  
言えて偉いじゃないか

ニヤ

命令に逆らえないのを  
知ってる癖に  
どの口が…

一発出しても  
まだ萎えることが無い  
こんなに興奮できるのは  
いつぶりだろうか…

色々手間をかけて  
奴○に落とす甲斐が  
あるというものだ

そう…  
この男が…  
私から全部  
奪ったんだ…!!

ある日突然  
この男：ウオドムスは  
私に求婚してきた

彼の女癖の悪さや  
黒い噂は  
社交界でも有名だった

身分が低い私の家は  
その申し出を無下に  
することは難しかったが

彼はそれが  
気に食わなかった

立場が悪くなる  
ことを承知で  
両親は断ってくれた

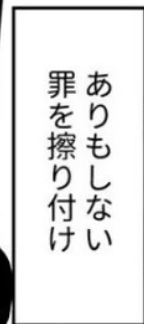




私たち一家を  
罪人奴〇へと  
落とした



もてる権力を  
すべて使い  
家督をはく奪し



ありもしない  
罪を擦り付け



そのうえ  
私と妹を買い上げ

隷属の首輪を使い  
都合のいい玩具にしたのだ



私だけじゃなく  
父や母

妹にまで…  
絶対に許せない…!!



それはお前がいじるから...

ここも随分とほぐれてきたな



イヤッ  
声が勝手に出て...



もっといい声を聞かせておくれ



ほら我慢するな







どうだ  
そろそろ私の愛を  
受け入れる  
気になったか？

奴○に対して  
こんなに寵愛  
注いでいるのは  
私くらいなものだぞ

ふざけないでっ…  
私の家族に何をしたのか  
忘れたの…！

ははは  
お前の潮でベッドが  
びちよびちよだ



ほお…

絶対に無いわ

それにこんな首輪を  
使わないと女ひとり  
抱けない男を  
愛するなんて

そうか…  
お前が私の愛を  
受け入れないと言うなら  
仕方ない

特例で一般業務に  
就かせている  
妹に特別扱いが  
できなくなるな…

お前の願いだから  
手を出さずにいたが  
その必要も  
無くなったな

なっ…!!  
それは…!!

奴○をどう扱おうと  
私の勝手だろう?!

どうした?  
なにか問題が  
あるか?





っ…生意気な事を言って  
申し訳ございませんでしたっ…



では遠慮なく  
好きにさせて  
もらおう



くく素直な子は  
嫌いじゃないよ

私の事はどうしても  
かまいません…  
ですから妹だけはっ…



こんなにく〇を  
勃起させて  
はしたない



もとに  
戻してあげよう



イグ!!!  
いってきます!!

うん  
いい子だ



ちゃんと  
報告しなきゃ  
駄目だろう?



こらこら  
なに勝手に  
イってるんだい?



うん  
いい子だ

うん  
いい子だ



そろそろ私の事も  
気持ちよくして  
もらおうか

なかなか  
いい顔になった  
じゃないか



ほら自分で  
足を広げなさい



この時を  
どれだけ待ったか



でも自分から  
受け入れるなんて!!

こいつが満足  
すればこの  
攻めも終わる...



まだ抵抗するか  
それなら...

“足を開いて  
私を受け入れろ”



いい子だ



なんて名器だ...  
少し動かすだけでも  
果ててしまいそうだ



ひっ！おま○こに  
勝手に力が入って！

おち○ちんの  
形がわかるくらい

ちよつと  
動かれるだけで  
そりそりって！

なかなか  
効くだろう？  
さらに上から  
手で押すと！

なにこれっ！  
なにこれっ！

中と外から挟まれて！





おほい

ははっ  
腹を押すたびに  
下品な声が出るぞ



はやく…  
はやくだじでえ!!!



おほい



ズググ  
ズググ  
ズググ

イグ:  
イグ:  
いっでるう!!!



そこまで言うなら  
出してあげよう



一番奥で  
全部受け止めるよ

イクっ！

イクっ！





おははははは

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク

ヒク



熱いのが…  
わたしの中に  
いっぱい出て…



なに勝手に  
休んでるんだい



これだけ私を  
焦らしたんだ  
一回で終わるわけ  
ないだろう？

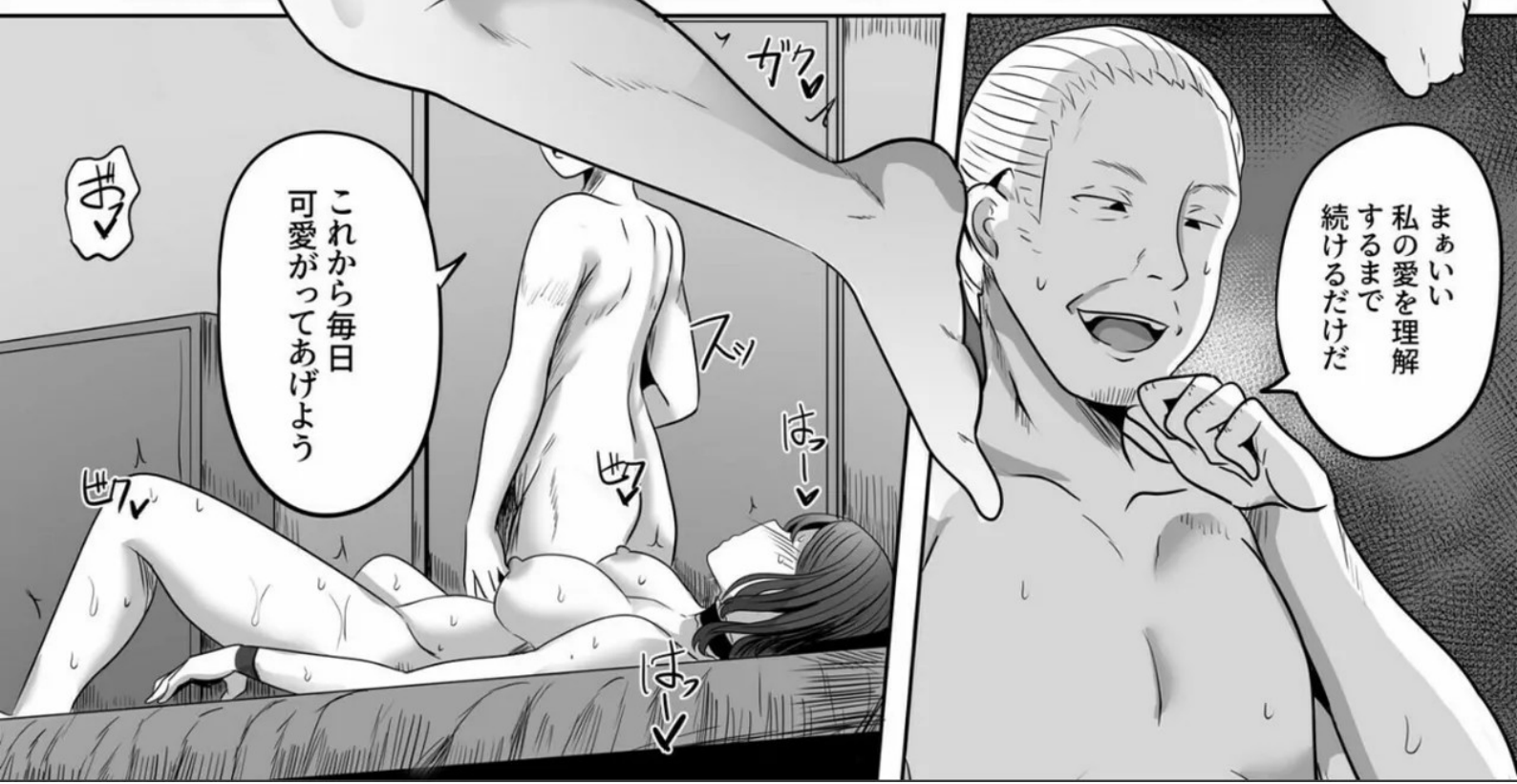
今…  
今…  
今…

か…



一晩で堕とす  
つもりだったが...  
強情な子だ

ふううう...  
流石にもう  
限界だな



まあいい  
私の愛を理解  
するまで  
続けるだけだ

これから毎日  
可愛がってあげよう



身体はいくら  
弄ばれてもいい



心まで屈してしまったら  
お父さんが私を  
かばってくれた事

絶対に  
心まで屈しない...



家族の想いが  
全部無駄になる...

絶対思い通り  
なんかにな  
ってやるもんか...

★この度は、本作をお買い上げいただき有り難うございます。  
ご感想・ご意見等ございましたら、下記の住所までお送りください。

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-2-5F  
株式会社プレステージ出版  
「コミックス感想」係

皆様のお便りを心よりお待ちしております。

## メイドとしての日々 誇りと屈辱の狭間で(1)

著者/ヤスヒロ  
発行/プレステージ出版

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネット  
へのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

ウェブサイト・公式SNSで  
最新情報をチェック!!



ウェブサイト



編集部公式X